## 建設業 牛物多様件

物 が性 できること

国連生物多様性条約第 12 回締約国会議(COP12)が、韓国ピョンチャンにて 2014 年 10 月 6 日 $\sim$ 17 日に開催さ れました。また、今年 12 月 1 日~12 日には国連気候変動枠組条約第 20 回締約国会議および京都議定書第 10 回締 約国会議(COP20・COP/MOP10)が、ペルーの首都リマにて開催されます。生物多様性と気候変動は双子の関係に あり、1992年の国連地球環境サミットで2つの条約が採択されました。2つの地球環境問題について各国で議論さ れ20年が経過しましたが、未だに解決の糸口は見出されず、地球環境は悪化の一途をたどっています。

建設業は土地の改変や建築物の構築などにより自然環境に直接関与するため、生物多様性との距離感が極めて近い 業種の一つです。バブル経済崩壊後、建設業界は3K 職場や談合問題そして自然破壊者として社会から厳しい非難を 受け、業界としてのブランドの低下を招きました。近年、業界をあげて生物多様性保全の取り組みを進め、入札での 要件にもなっています。今回のセミナーでは、生物多様性の動向と企業の関わり、そして建設業の生物多様性保全の 取り組みを紹介します。

## ◆講師プロフィール

## 清水建設株式会社 小田 信治(おだ しんじ)



いのちの共生を、未来へ COP10/MOP5 愛知-名古屋 2010

1981年、清水建設(株)に入社し、土木設計、ゴルフ場やスキーリゾートの開発に従事。その後、大 規模開発の環境アセスメントとビオトープ計画、猛禽類や希少生物の保全対策を担当。近年は医 薬・食品施設の防虫対策、ビル等の防鼠対策、防鳥対策(ハトやカラス)に係わる新規分野の業務 と技術開発を進めている。

(一社) 日本環境アセスメント協会理事、(一社) 企業と生物多様性イニシアティブ、(一社) いき もの共生事業推進協議会、(一社) アニマルパスウェイと野生生物の会、(NPO) ちば環境情報セ ンター、生物技術者連絡会の各会メンバーとして活動。

日時: 2014年 12 月 17 日(水)

18:30-20:30 ※18:15 受付開始

中央区立環境情報センター 研修室 2

東京都中央区京橋三丁目 1-1 東京スクエアガーデン 6F (東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結)

会費: 会員 1000 円/非会員 2000 円 (学生:500 円)

定員: 30名(先着順)

■■■■■■■■■■■■■ <FAX でのお申し込みは 03-5542-5303> ■■■■■■■■

申込締切: 2014年12月15日(月)

循環型社会研究会は、次世代に継承すべき自然生態系と調和した循環型社会のあり方を地 球的視点から考察し、地域における市民、事業者、行政の循環型社会形成に向けた取り組み の研究、支援、およびそのための交流を行うことを目的に活動するNPO法人です。



<sup>フリガナ</sup> 氏名:	所属/学校名:		_
〒 住所:		年齢: <b>j</b>	裁
Eメール:	電話番号:		

## ☆お申し込み/お問い合せ先☆

NPO 法人循環型社会研究会 事務局 (担当:山本) TEL: 03-6693-0729 E-mail:junkan@sfinter.com ホームページ: http://junkanken.com/

